

## 2013年度事業報告

### 1. 荒川クリーンエイドの運営

#### 【事業の概要】

荒川の支川も含め流域全体で荒川クリーンエイドを運営した。参加者数の拡大を目指したが、雨天中止が多かったことから実現に至らなかった。一方、新たな実施地の開拓に取り組み、3.1km の新規開拓を実現した。

ゴミを拾うだけでなく、参加者が河川ゴミの環境負荷や発生原因等について学び、日頃からできるだけゴミを生まない生活を実践するよう、「荒川ペットボトル大搜索!」、「マイボトル de ゴミ拾い。」キャンペーン等を通じ、「学び」の支援を充実させた。

マラソン大会など、荒川河川敷利用者へのコミュニケーションの機会を設けることにより、流域市民・利用者への啓発活動を新たにスタートさせ、ゴミが捨てられない機運をつくった。

#### 【主な実施事項】

##### ① 調べるゴミ拾い

荒川クリーンエイド 2013 でも、散乱ゴミ、粗大ゴミについて、「調べるゴミ拾い」を実施した。

143会場がエントリーされ、122会場で実施された。10月の週末に雨天が多かったために、実施できた会場数が減り、参加者は 11,559 名と前年を下回った。

11団体の新規実施団体を迎えた。年間延べ活動距離約 16.6km の中、約 3.1km は、近年活動されていない場所での実施となった。

「はじめよう！拾うだけじゃないゴミ拾い」の小冊子の配布を通じて、参加者が河川ゴミについて学び、できるだけゴミを生まない生活について考える機会を提供した。

##### ② 特定テーマのゴミ拾い

「荒川ペットボトル大搜索！」及び「マイボトル de ゴミ拾い。」を継続し、ペットボトルゴミの発生抑制を推進した。

##### ③ 実施説明・体験会の開催

9月14日に説明・体験会、4月14日、10月20日に体験会を開催し、特に初めて実施する団体や、キャブテン等担当者が交代する団体などを中心に参加いただき、運営方針や実施方法の周知を図った。

##### ④ 主催・共催会場の運営

6月15日に SAVE JAPAN プロジェクトの一環として荒川クリーンエイドを主催した。7月6日および1月18日に FUJIO PROJECT、10月5日にふるさと清掃運動会実行委員会、12月1日に豪田ヨシオ部と、それぞれ共催で実施し、荒川クリーンエイドを多くの皆さんに知っていただく機会とした。

##### ⑤ 実施サポート

実施団体の要望に応じて、活動実施のサポートを行った。

##### ⑥ 荒川利用者キャンペーン<new>

FUJIO PROJECTとの共催において、駅伝大会、マラソン大会参加者など荒川利用者に対して荒川のゴミの現状などを伝える啓発活動をスタートさせた。

##### ⑦ 報告会の開催

2月7日に報告会を開催し、荒川クリーンエイド 2013 の実施概況とゴミ調査の結果等活動の成果を報告した。併せて、2013年に大きく貢献いただいた団体・企業に功労者賞を授与した。

### 2. 生物多様性の保全

#### 【事業の概要】

里川創造プロジェクトでは、国土交通省の「荒川下流自然地管理アダプト制度」の下、参加団体が実施する荒川クリーンエイドの支援を中心に、当地の環境保全活動を推進した。絶滅危惧種の復活プロジェクトは、地域の団体による運営への移行を検討しながら事業を継続した。

#### 【主な実施事項】

##### ① 里川創造プロジェクト

江戸川区小松川自然地において、「里川小松川自然地協議会」の構成団体として、荒川下流自然地管理アダプト制度の下、国土交通省と連携し、地域の団体や学校・企業と協働しながら、荒川クリーンエイド、外来種の除草、自然環境教室、モニタリング等環境保全と普及啓発のプログラムを計20回実施した。千住桜木地区については、企業と連携し荒川クリーンエイドを中心とした活動を行った。2014年度のアダプト制度締結に向けて準備を行った。

##### ② 絶滅危惧種の復活プロジェクト

荒川河川敷のヒヌマイトトンボ生息地において、観察ルートを整備、夏季に14回にわたり、生息個体数や生息環境のモニタリングを実施し、4匹の生息を確認した。2014年度以降は足立区が中心に活動を継続できるよう移行を進めた。

### 3. 環境教育の推進

#### 【事業の概要】

荒川クリーンエイド実施団体や地域の団体と連携しながら、人々が川ゴミの問題について学び、環境保全意識を高めるよう、荒川をフィールドとした環境教育を推進した。新入社員研修は、基盤強化の手段として、また、若者層への啓発の機会として積極的に推進した。

#### 【主な実施事項】

##### ① 学校教育の支援

小松川自然地・里川創造プロジェクトの一環として、2校3回の支援を行った。その他の地域については、地域の団体を中心に支援できるよう移行を進めた。

##### ② 社員研修の実施

前年度に開発した、チームビルディングを取り入れたプログラムをプラッシュアップし、「環境に悪いゴミ拾いゲーム」としてプログラム化し、これを中心に、5社の新入社員研修、1社の内定者研修を実施した。

##### ③ 自然環境教室の支援・開催

里川創造プロジェクトの一環として、地域の団体と連携しながら、市民向けに自然環境教室を4回開催した。また、荒川クリーンエイド実施サポートの一環として支援を行った。

### 4. 水質調査の実施

#### 【事業の概要】

近年は10年近く荒川の水質が安定してきていることを受け、秋のクリーンエイド時の水質調査は基本的に実施しないこととした。ただし、身近な水環境をモニタリングし、水環境への関心を高めることは重要であるので、「身近な水環境の全国一斉調査」に参加した。

#### 【主な実施事項】

##### ① 「身近な水環境の全国一斉調査」への参加

調査参加者を募り、6月2日午前10時を中心に、荒川本川及びその支川、また、流域各地の川や池などの合計40か所で、温度とCOD（低濃度）調査を実施した。データを取りまとめ、全国水環境マップ実行委員会に提出した。また同実行委員会に参加し、調査活動の展開や運営について検討を行った。

## 5. 流域連携

### 【事業の概要】

荒川流域の諸課題に流域連携で取り組むため、源流・中流域、及び下流域の団体と連携した活動を推進した。

### 【主な実施事項】

#### ① 荒川源流エコツアーの実施

9月7~8日に、1泊2日で、荒川源流部へのエコツアーを実施し、25名が参加した。秩父市の薪拾いボランティアに参加し、秩父市職員、NPOもりと水の源流文化塾の方々と意見交換を行い、源流の森の恩恵を受けている下流市民が源流の問題を共有する機会とした。

#### ② 荒川流域再生プロジェクトへの参加

3月16日に、NPO法人荒川流域ネットワークを中心に開催する「荒川流域再生シンポジウム」を共催した。同NPO法人が中心に推進する荒川流域再生プロジェクトの活動のうち、8月17日に、アユ遡上支援作戦の一環として「地引網体験会」を共催し、下流域から16名の親子などが参加し、流域連携による「魚の行き交う川作り」に貢献した。

#### ③ 埼玉県河川環境団体連絡協議会や川の再生交流会への参加

埼玉県内の河川団体が加盟する埼玉県河川環境団体連絡協議会（埼河連）や、1月13日、埼玉県主催川の再生交流会に参加し、埼玉県内での連携を図った。

#### ④ 荒川自然懇談会を通じた荒川下流河川事務所との協働

当フォーラム役員が多数参加する荒川自然連絡会と荒川下流河川事務所との間で行っている「荒川自然懇談会」を官民協働の場とし、他市民団体と分担して生物のモニタリングに取り組んだ。

## 6. 他セクターや全国・世界とつながる活動

### 【事業の概要】

「調べるゴミ拾い」を全国の河川に広げることを目指し、川ゴミ拾いの全国ネットワーク構築を始動した。

### 【主な実施事項】

#### ① 一般社団法人 JEANとの連携

世界の海洋ゴミ調査と世界の海ゴミ問題の解決に貢献すべく、荒川クリーンエイドのゴミ調査結果をJEANに提供した。

#### ② 他河川の団体と協働【調べる川ゴミ拾いのネットワークづくり】

他河川でゴミ拾い活動を展開している全国の6団体と連携し、6月28日に開催した実行委員会にて、「調べるゴミ拾い」の普及を目指す方針を確認した。「全国川ごみネットワーク」として新潟県の新川において試行的に調べるゴミ拾いを実施した。

## 7. 広報・情報発信

### 【事業の概要】

参加者・賛同者を増やすため、ホームページ、ソーシャルネットワークなどを活用しながら、荒川クリーンエイドや川ゴミの問題について発信した。ニュースレター、Eメールニュース、報告集などを発行し、会員や関係者における情報や運営方針の共有を図った。また、荒川クリーンエイド参加者向けにパンフレットを作成・配布し、ゴミを生まない生活の実践を促す啓発を進めた。

### 【主な実施事項】

#### ① ホームページ

荒川クリーンエイド会場やイベントの最新情報を随時更新したほか、社員研修ページのリニューアル、20

周年関連コーナーの新設、最新情報や活動報告ブログ記事の充実にも取り組んだ。

## ② ニュースレター

年度内に4回（5, 8, 1, 3月）発行した。各号ともにテーマ性を持たせ、会員や関係者との情報共有を図った。

## ③ Eメールニュース（メールマガジン）

毎月月初めに（年12回）配信し、各月の旬のニュースを迅速に発信した。（約800名に配信）

## ④ 報告集

大成建設自然・歴史環境基金の助成金を加え、ゴミ調査の結果や活動の成果を集約した報告集を発行した。荒川クリーンエイド20周年の特集ページを設け、参加者・キャプテンアンケートの結果も含め、20年の成果を振り返り、新たな10年に向けた課題を会員・関係者と共有した。

## ⑤ ポスター、リーフレット

関東地域づくり協会の助成金により作成した。例年と同様、秋のクリーンエイド活動を周知する内容とした。実施団体、沿川の自治体に活用いただいたほか、沿川の約30駅でも配布・貼付いただいた。

## ⑥ 荒川クリーンエイド展示パネル <new>

日野自動車グリーンファンドの助成により、荒川のゴミの課題を伝え、荒川クリーンエイドへの参加を促すパネルを作成した。ロール型の持ち運びやすいものとし、環境やボランティアに関する展示会等で活用した。

## ⑦ 荒川クリーンエイド参加者パンフレット <new>

日野自動車グリーンファンドの助成により、参加者が、川ゴミについて学びを深め、ゴミを生まない生活を実践するよう促す啓発パンフレットを作成した。荒川クリーンエイド実施会場を中心に配布、活用した。

## ⑧ ソーシャルメディア

Facebookを活用してタイムリーな話題を提供し、荒川クリーンエイドや川ゴミ問題への関心を高めた。

## ⑨ イベント出展

流域自治体での各種イベントほか、8月2~3日にOCEAN PEOPLE、12月12~14日にエコプロダクツ2013に出展し、荒川クリーンエイドや川ゴミの問題について発信した。

## 8. 20周年記念イベント <new>

### 【事業の概要】

荒川クリーンエイドの20周年を記念して、年間を通じて、これまでの軌跡をふりかえりつつ、新たな10年に向け、活動の意義や成果・課題を会員・関係者と共有した。

### 【主な実施事項】

#### ① 記念イベントの開催

2月7日（金）に、約90名に参加いただき、20周年記念会を開催した。

記念会に先立ち、これまでの活動や荒川に関する写真を募集し、写真展を併せて開催した。

#### ② 荒川クリーンエイド白書2013の発行

20周年を機に、荒川クリーンエイドや「調べるゴミ拾い」を広く発信できるような白書を制作・発行した。制作・編集にあたってはプロボノによる支援をいただき、東洋ゴム環境保護基金により制作した。

## 9. 組織運営

### 【事業の概要】

報告会、連絡会等を通じた会員・関係者とのコミュニケーション、理事・運営委員会の開催、事務局の増員、ファンドレイジング等を通じ、より円滑な組織運営と組織基盤の充実を図った。

## 【主な実施事項】

### ○連絡会の開催

2月7日に連絡会を開催し、3名の講師に話題を提供いただき、荒川クリーンエイドの今後の10年に向か、会員団体・関係者と意見交換を行った。

### ○理事会・運営委員会の開催

総会議案、人事等について協議・決定するため、理事会を2回開催した。

事業を円滑に進めるため、運営委員会を9回開催した。

### ○事務局体制の強化

年度当初は、1名の専従職員と3名の非専従職員により運営であったが、専従職員を募集・採用し、8月からは専従職員2名として、事務局体制を強化した。

### ○ファンドレイジング（資金調達）

社員研修など自主事業化できるサポートサービスを増やし、自主財源基盤の強化に努めた。

### ○「河川協力団体」の指定

2013年度に国土交通省で創設された「河川協力団体制度」への申請を提出し、指定を受けた。

### ○車両購入

中古軽自動車を1台購入し、活動全般に役立てている。

## 2013年度活動報告の概要一覧

事業	活動名	実施日・会場等	概要
1 荒川クリーンエイドの運営	荒川クリーンエイド 2013	1~3月 (2012年度) 4~12月	荒川流域で年間 122会場、参加者 11,559人 で実施
	説明会 体験会	9/14 4/14、9/14、10/20	活動の趣旨・実施方法の説明等 現地での体験及び説明
	主催・共催会場の運営	6/15、7/6、10/5、1/18	全国的なプロジェクト等との連携
	報告会	2/7	荒川クリーンエイド 2013 の成果報告
2 生物多様性の保全	里川創造プロジェクト	4月～翌年3月	住民や企業参加者と共に、荒川クリーンエイド、外来植物の除草等計 20回実施
	絶滅危惧種の復活プロジェクト	4月～翌年3月	個体数や生息環境のモニタリング
3 環境教育	学校教育支援、 社員研修支援、 自然環境教室開催・支援	6,9,11月 4,5,9月 秋を中心に通年	2校3回支援 6件実施 市民向けに4回実施
4 水質調査	身近な水環境の全国一斉調査	6月2日一斉調査 12月7日	荒川下流域 40地点で実施 全国水環境マップ実行委員会に参加
5 流域連携	荒川源流エコツアー	9/7～8日	水源林保全ボランティアに参加、意見交換会実施
	荒川流域再生プロジェクト	8/17 3/16	地引網体験会、シンポジウムの共催
	埼玉川の再生交流会	1/13	埼玉県主催イベントに参加
	荒川自然懇談会	1/17	随時参加、自然地の生物モニタリング活動
6 他セクター や全国・世界 とつながる 活動	一般社団法人 JEAN との連携	一般社団法人 JEAN との連携	荒川クリーンエイドのデータを提供
	調べる川ゴミ拾いのネットワークづくり	6/28 10/6	実行委員会の開催 モデル実施 (新潟・新川)
7 広報・情報 発信	ホームページ、Facebook	随時更新	荒川クリーンエイドの会場情報、イベント案内・報告等
	Eメールニュース (メールマガジン)	毎月初め	イベント案内・報告等
	ニュースレター	5,8,1,3月に発行	イベント案内・報告等
	報告集	2月発行、1,500部	20周年特集の章を掲載
	ポスター・リーフレット	8月制作。 ポスター1000部、 リーフレット2万部	荒川クリーンエイドの周知、参加者募集
	荒川クリーンエイド展示 パネル、パンフレット	5月制作。パネル1式。 パンフレット1万部	荒川クリーンエイドの紹介、参加を促す。ゴミ削減の啓発
	イベント出展	8/2～3、12/12～14	OCEAN PEOPLE,エコプロダクツ 2013
8 運営	第14回定期総会	5/18、赤羽会館	事業報告・事業計画等の協議
	理事会・運営委員会	随時開催	予算決算の提案、ACF運営に係る協議
	連絡会、20周年記念会	2/7 シアター1010	報告会と併催、写真展を併催